

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 平和交流集会開催

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3660  
16年6月10日(金)  
・Fax 095-828-1953

おはようございます。  
5月29日(土)、福岡市で「郵政平和交流集会」が中国・九州両地本の共催で行われました。あいにくの雨にもかかわらず、両地本から60名の仲間が参加しました。

オープニングとして、FYM・Kitagの崔春海さんによるギター演奏から集会は始まりました。

まず、映像で見る戦争の歴史としてDVDを見ながら、戦争と平和運動についての学習。音声は途絶え組合員が説明するというハプニングがありました。が、実際の音声以上に分かりやすく好評でした。

続くリレートークでは、被爆者の視点、労働者の視点、若者の視点、母親の視点、労組の視点等、多方面の方々から、実際体験されたお話や運動にかかわるきっかけ、今の課題などをお聞きすることが出来ました。



ユニオンでも8月の原爆忌をのぞけば、平和について話し合う機会は多くありません。今回、原爆のむごさについて、安保法制について、今後の平和運動につ



集会后は会場を移動し懇親会を行いました。ピー

いて考え語りすることができ非常に有意義な集会でした。

\*「FYM・Kitag」は「FYM」の北九州市地区におけるグループ。「FYM」は昨年7月に設立した福岡の若者有志で構成された安保法案反対団体。私たちの未来を自由を、政府に奪われてたまるか、今声をあげなければと、福岡各地で集会開催など行動をしています。

平和交流集会に参加して

5月29日、福岡で開催されました平和交流集会に参加させていただきました。現役アメリカ大統領が被爆地・広島を訪問するという歴史的出来事の直後の開催は、私を含め参加者の平和への関心もとても、高く大変有意義な会であったと思います。

中でも福岡市原爆被害者の会・鳥野さんの被爆体験を伺い、想像を絶する原爆の威力、一瞬で日常・未来を奪われる非戦闘市民の無力感と嘆きに心が痛みました。

また、安保関連法に反対するママの会・山中さんのお話は、同じ年代の女性からの観点で分かりやすく、

同時に、育児期間という大変な時期に精力的に活動をなさられておられることも共感しました。



また沖縄・辺野古の基地問題で移転ではなく新設という事に驚きました。

恥ずかしいことですが、普段の会議や大会で労働運動の討論や発表では不勉強な私には分からない話が出る事が多いです。

しかし、今回平和活動をなさってられる多方面の来賓の皆さまに分かりやすく話して頂き、改めて戦争に正義や大義は無く、絶対を起こしてはいけないという気持ちと、平和への有り難み守って行く上で国民の安定した生



ギターの演奏で始まり懇親会まで設定され、学習会として交流会として、非常に有意義な時間でした。参加させて戴きありがとうございました。(Y)



活の基盤となる労働組合の活動の大切さを感じました。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。